

# THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU CHARTERED 1995



那須ワイズメンズクラブ

2015~2016年度 No.196

## 5月 月報

那須クラブ会長 主題  
拓こう 築こう ワイズの世界



強調月間：EF  
JEF



4月(CS活動植樹)例会 4月29日

2015~2016年度 主題  
 国際会長：(IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)  
 「信念のあるミッション」  
 アジア地域会長：(AP) Edward K.W. Ong(シンガポール)  
 「愛をもって奉仕をしよう」  
 東日本区理事：(RD) 渡辺 隆 (甲府)  
 「原点に立って、未来へステップ」  
 北東部長：中川 典幸 (仙台)  
 「今と原点を融合して未来へ」 - 楽しく改革・笑って行動 -

クラブ役員 事務局  
 会長：田村 修也  
 副会長：村田 榮  
 河野 順子  
 書記：荒井 浩元  
 会計：鈴木 保江  
 担当主事：荒井 浩元  
 プリテン：田村・村田

4月例会データ(出席率：83.3%)  
 在籍者 6名  
 例会出席者 2名 メネット 2名  
 コメット 2名  
 ゲスト：22名  
 メーキャップ 3名

今月の聖句  
 主は高い所に住まう者を引き下ろし、築き上げられた都を打ち倒し、地に打ち倒して、塵に付させる。貧しい者の足がそれを踏みにじり、弱いもの足が踏みつけていく。  
 イザヤ26：5~6

東京目黒クラブ 那須クラブ  
 なし 5月 Happy Birthday  
 なし

## 巻 頭 言

河野 順子

### は・な・し・の話

およそ一か月位前に夫の上の前歯が抜けました。は抜けた顔になりました。70歳代としては、それほど老けた顔立ちではないのに、老けて見えます。時を同じくして、小学一年生の孫も下の前歯が抜けました。こちらはなんとかわいらしいのでしょうか。

たった一本の歯がないだけで表情が変わってしまうとは、歯の重要性を再確認したミニ事件です。

そこで今回、何気なく自分の歯にはそれほど気にしていなかったのを確認してみたいと思います。歯は、全部で32本あります。最近の小顔の人には親知らずの歯が上手く生えずに28本を基準とする傾向だそうです。

歯は、口腔内にある咀嚼するための一番目の器官です。人体で最も硬く、遺体ではその治療状況によって人物の特定の重要な手がかりとなります。歯は、全身の健康の原点といわれます。

役割：○食事をおいしく味わいながら食べること

○友達と話すこと。笑うこと。歌うこと。

○スポーツで思いっきり食いしばること。

よく噛むことは、単に食べ物を体に取り入れるためだけではなく、全身を活性化させるのに重要な働きをしています。

○ひ 肥満の予防 ○み 味覚の発達

○こ 言葉の発音はつきり ○の 脳の発達

○は 歯の病気を防ぐ ○が がんの予防

○い 胃腸の働きを促進 ○ぜ 全身の体力向上（以上の頭文字からひみこのはがいてぜ）の標語です。

### 前歯の役割と機能

前歯は、上下で4本ずつあります。見た目で見立つのは言うまでもありません。前歯は発音に深くかかわります。前歯がないと、息が漏れて発音が上手くできなくなります。また、食べ物を噛み切るのには、前歯を使います。前歯の先端で噛むと、奥歯は浮いた状態になり、上下の奥歯は当たらなくなります。もし、奥歯が浮かばなければ、前歯では噛み切れません。前歯で噛んでも奥歯が浮かなければ、奥歯にかかる負担は大きくなります。奥歯を守るためには前歯は非常に大切です、互いを守るために重要な関係です。（気にしていなかったなあー。自分の身体の一部なのに）。

今回、前歯に特化しましたが、歯はそれぞれ役割があって、すべての歯が調和を持って存在して

います。「どれかなくても差し支えない」と考えるのは間違いのようです。すべての歯の形は、アゴの関節の動き角度と密接な関係があります。適当に並んでいればよいのではなく、規則性を持った形になっています。連続して並んではじめて機能的な姿になるのです。

私たちの生命活動は、言うまでもなく食べることによって支えられています。8020推進活動など、目安をつけて歯の寿命を延ばしたいところですが、人間の平均寿命に歯の寿命は追いついていないそうです。

やはり、食事に気を付け口腔内の清潔に気を付け、良好な日常生活習慣が影響するようです。確かに、わたしの母は102歳で亡くなりましたが、20数本の歯を保持し、硬い食べ物でも良く咀嚼していましたので、アゴの関節や唾液の分泌も良く、認知症にならずに済みました。

さて、孫は大人の歯が生えだしました。夫は家族に言われ、自分でも鏡でわが顔を見て、歯科受診を計画していました。

犬歯や奥歯などの役割機能も大切ですので、機会がありましたら続編をお送りしたいと思います。

（歯科医師のワイズメンの方、差し出がましくすみません）。

参考文献、引用文献は、

<http://nukanai.com/nukanai024/>

<http://www.8020zaidan.or.jp/m/02.html>

## 4月（CS植樹）例会報告

日時：4月29日（金・祝）午前10時～

場所：那須街道赤松林駐車場

参加者：メン：田村会長、村田副会長、メネット：田村、村田、コメット：村田2名、ゲスト：ガールスカウト15名、アジア学院・西那須野教会他2名、塩那管理署5名。合計：28名

4月例会は、チャーター以来続けている植樹例会であった。2004年より、毎年2回こよなく昭和天皇が愛された、那須街道の赤松美林への植樹を行ってきた。最初は2万本以上あった赤松林が9千本までに松くい虫に被害で減少しているとの説明を聞き驚いた。田村会長のあいさつ、塩那管理署長の挨拶と赤松林の説明があった。管理署の職員の方による植え付けの方法を説明後、竹がさしてあるところに各自植え付けを行った。植え付けた苗木のそばに自分の名前を付けた竹の札を付けました。この名札と竹が下草狩りをする時松の苗の目安になります。準備された松苗150本

を手際よく植え付けました。塩那管理署の管理官のお話は、植樹するだけでなく、私達が植え付けた苗が育っていく過程を見守ってほしいとの話があった。又、松のお話を聞くことが出来ました。

その後昼食を楽しくいただきゲームと歌で楽しい一日を過ごしました。参加してくれたガールスカウトのメンバーには、田村メネットの手作りの松のブローチが贈られた。わが那須クラブでは、昨年度より植樹だけでなく保育の活動(下草狩り)にも年2回管理署の要請を受けて協力をしています。小さな苗木がすくすくと育ってくれることを願う一日でもありました。

## 4月役員会報告

日 時：4月6日(水) 12:30~

場 所：ココス西那須野乃木店

出席者：田村会長、河野副会長、村田副会長、鈴木会計、荒井書記、田村メネット、村田メネット  
協議事項

### 1. 4月例会の件

4月29日(金) 午前10時赤松林駐車場集合。

10:00 全体説明・植樹・保育

12:00 昼食・赤松美林周辺散策と歩道清掃

13:00 おやつとソング

全員保険に加入する

CS写真展にこの例会で応募する。

### 2. 5月役員会について

5月6日(金)午後6時30分~、ココス西那須野乃木店。

協議内容は5月例会、6月例会、その他、ブリテンの原稿

### 3. 2014~2015年、2015~2016年度会計報告の件

別紙資料に基づき現状を確認した。会費納入状況についても確認できた。東日本区への献金も少しはするようにする。会費は、会計が欠席の時には荒井副会計が集金するようにする。メンバーは、できるだけ早く会費の支払いをする。

### 4. 5月例会の件

5月27日(金)午後6時~。場所：西那須野教会。内容：とちぎYMCA総主事を迎えて那須YMCAと那須ワイズの方向性について話し合う。リーダーや協力会員の参加を含めて開催する。食事はカレーとする。

### 5. ブリテンの内容について

西那須野幼稚園、エルム福祉会で掲載をする。

巻頭言は、荒井メン。5月号より、「ユースリーダーのつぶやき」のコーナーを設ける。

6. 6月26日(日)に行われるチャリティーランへの献金の件

当クラブとしては、10,000円の献金をする。

### 7. ロースター原稿の件

ロース他の内容確認、携帯電話を掲載する。

8. 5月28日(土)に行われる石巻広域ワイズメンズクラブのチャーターナイトの件

村田メン・メネットが出席し、10,000円のお祝い金をする。

### 9. その他

・第19回東日本区大会、6月4日(土)~5日(日)長野市において開催。

村田メン・メネットが参加する。

・第3回北東部評議会 4月23日(土)盛岡。

欠席については、委任状を提出する。

・那須YMCAの説明が荒井担当主事よりあった。

## 旧西那須野(那須西原)の緑と水(38回)

田村修也

その頃、時を同じくして、続々と官有地の貸下げ申請がなされて行きました。

1882年(明治15年)黒磯の西方に108町歩の原野を蟹江太平等10数人が共同で開拓を始め、共墾社となりました。那須野ヶ原で唯一の士族授産のための農場として創設されたものですが、実際には一般の人も入植しています。当初は100名でした。士族授産事業は政府や各都道府県で力を入れ、全国で百数十件の事業が行われました。黒磯の共墾社は県内外の士族が結社を組織して開拓事業を行ったものです。中心人物の蟹江太平は福井県、天野武三郎は山口県、渡辺謙二は栃木県下都賀郡の出身です。遠くは佐賀県、静岡県出身者もいます。県内にはもう1件共墾社があり、旧壬生町に製茶を目的としたものです。

場所は那須東原の県営那須牧場(本場)の内582町歩他です。現在では国道4号線旧道沿いで、那須塩原市役所本所や小学校、ガソリンスタンド、大型資材店、そして、那須地域で最も古いワイナリーがあり、周辺はワイン用のブドウ畑が広がっております。古民家の店舗では各種の自家製ワインを試飲し購入することができます。位置的に入植者渡辺謙二の直系かもしれません。

明治13年(1880)には、埼玉県人吉田市十郎、中村孫兵衛他が那須東原開墾社を創設し、



原野985町歩の貸下げを受けて、その郷里埼玉県その他各地から移住民を募集して、開拓事業を開始しました。管理者として北弥六（現在の新幹線那須塩原駅周辺）の豪農大平定治を委嘱し、その後息子の清次が引き継いで管理の任に当たりました。しかし、創業当初の協力者も逐次離脱してゆき、最後は中村孫兵衛一人となり、中村も維持困難となつたので、その大部分を黒田原富商藤田和三郎に委譲し、その残地約20町歩を大平清次が引き受けました。この開墾は埼玉県人によって創められたので、埼玉開墾といわれました。住所表示によって現在の地名は変わってしまいましたが、以前の同地の字名は、奈良、四方寺、熊谷、行田等埼玉県大里郡地方の地名が残っていました。埼玉と書いてサキタマと読みます。現在でも行田市にはサキタマと呼ぶ地名があると聞きました。吉田市十郎は埼玉県が生んだ功労者の一人です。市十郎の祖先は産業開発、土木事業等の功労者で、市十郎はその跡を継いで堤防修繕、凶荒予備、開墾等に力を尽くしました。また東北の鉱山にも関係するなど、殖産事業に多大な関心を示したことが、大日本農史や東北開発夜話に書かれているそうです。印南さん矢板さんが那須西原に那須開墾社を立ち上げたので仲間に入るとともに、市田さんは那須開墾社に対して自ら那須東原開墾社と東原を差し込んで開拓事業を始めたのでした。この地に昭和13年から3年をかけて陸軍の飛行場が建設しました。面積は280ha、滑走路は幅53m、延長1350mでした。現地には今でも「那須野陸軍飛行場跡建立の碑」が建っています。昭和20年8月敗戦により、軍隊の解散、外地からの引上げ等により未曾有の食料不足に見舞われました。そのため、9月には国家再建への一大国策として「緊急開拓5ヶ年計画」が発表され、埼玉にも飛行場跡地に第1、第2、第3と20年から46年まで、開拓団が入植しました。現在では黒磯南高校や埼玉中学校そして市営運動公園等整備され都市化が進んでいます。（以下次号へ）

## 西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園  
園長 福本光夫

熊本地震で亡くなられた方々に哀悼の意を表します。被災されている方々、お一人お一人の心・体・社会的健康と希望が守られますことを祈りま

す。

「神はノアと彼の息子たちを祝福して言われた。『産めよ、増えよ、地に満ちよ。地のすべての獣と空のすべての鳥は、地を這うすべてのものと海のすべての魚と共に、あなたたちの前に恐れおののき、あなたたちの手にゆだねられる。動いている命あるものは、すべてあなたたちの食糧とするがよい。わたしはこれらすべてのものを、青草と同じようにあなたたちに与える』」 聖書創世記9章1～3節

「ところが、あるときどういう呪いをうけたのか、暗い影があたりにしのびよった。いままで見たことも聞いたこともないことが起こり出した。若鶏はわけのわからぬ病気にかかり、牛も羊も病気になるって死んだ。どこへ行っても死の影。農夫たちはどこのだれが病気になったというはなしでもちきり。町の医者は、見たこともない病気があるとからあとへ出てくるのに、とまどうばかりであった。そのうち、突然死ぬ人も出てきた。何が原因か、わからない。大人だけではない。子どもも死んだ。元気よく遊んでいると思った子どもが急に気分が悪くなり、二、三時間後にはもう冷たくなっていた。

自然は沈黙した。うす気味悪い。鳥たちはどこへ行ってしまったのか。みんな不思議に思い、不吉な予感におびえた。～(中略)～ 春が来たが、沈黙の春だった」

レイチェル・カーソン

「沈黙の春(新潮社 1962年)」

入園・進級して約1週間、給食も14日から始まりました。朝、在園児のこどもたちや兄姉が、新入児をクラスまで連れて行ってから自分のクラスに行く姿をとてもうれしく思います。今、入園されたお子様は人生おいて家庭から社会へ初めての一步を踏み出したばかりのところですよ。在園のお子様であったとしても、慣れるまで、登園をいやがったりすることは、ある意味では当たり前のことです。引き続き朝は励まし、帰ってきたら褒めてあげてください。

さて、幼稚園の自然環境ですが、園舎建築で自然は減ったとはいえ、花壇やプランターにはチュウリップ、プールの花壇、桃、第二グラウンドの畑のしだれ桜もとてもきれいです。園庭のさくらやプラムは花が散りましたが、新緑が日射しに反射してまぶしく輝いています。こどもたちはこの豊かな自然の恩恵を体で感じているところです。この動物も含めた豊かな園の自然環境の基礎は、創

立以来、前福本治夫園長やスタッフが子どもたちのために、長い年月をかけて調べてしてきたものです。自然と共生できる人としての成長の願いが込められた環境です。

冒頭の文は聖書の「ノアの箱船」の物語の一部です。人間が自然を支配するのではなく、神から共生できるように管理をゆだねられたことを、人間は忘れてきました。いや、忘れたふりをして目先の利益や効率に走ってきました。その結果、50数年前にアメリカの女性化学者レイチェル・カーソンが、様々な圧力にも屈せず、農薬などの化学物質の危険性について出版した「沈黙の春」で警告されたことが、残念ながら別の形でも現実見を帯びてきた感があります。

去る3月27日に開催された「どうみる?甲状腺がん(主催 第5回・311「つながる、つたえる、そして未来へ」集い実行委員会、後援 那須塩原市、那須町、那須郡市医師会)」では、福島県の甲状腺検査の結果について、「過剰診断なのか?多発なのか?」をテーマに 国際医療福祉大学教授の鈴木元先生と岡山大学大学院教授津田敏秀先生の討論がありました。質疑で、この地域の甲状腺がんの発生について、津田先生は白河市が40倍ということを見るとこの地域は38倍位とのことでした。幼稚園の給食は陰膳方式で毎食の放射線量を年間約20万円でアジア学院ベクレルセンターで測定してもらい、園庭の空間線量と共にしらゆりとホームページで報告しています。給食で提供する汁物や水筒のお替わり用の水は逆浸透膜浄水機で水道水を濾過したものを使用しています。津田先生の推計通りにならないように、私たち大人が子どもたちの将来見据えて、真剣に考え、対策を講じる必要性を感じます。那須塩原市の除染対象外になった市内鴨内にある幼稚園附属山林観察園には行けなくなり、市内槻沢にある附属キャンプ場は閉鎖したままです。幼稚園のグラウンドに小山や林をつくる必要も感じます。

(しらゆり2016.4.15号 5月6日 加筆修正)

## 社会福祉法人 エルム会だより

「たじまの杜」 施設長 川上 聖子

### <エルム福祉会の新たな試み>

—hikari no café 蜂巢小珈琲店が  
4月26日にオープンしました—

hikari no café の2号店として、大田原市の

廃校となった旧蜂巢小学校をリノベーションして、hikari no café 蜂巢小珈琲店がオープンしました。

これまでのhikari no caféでは、就労移行支援事業として、毎年2・3名の利用者様を様々な一般企業への就労へとつなげてきました。今回立ち上げたこのhikari no café 蜂巢小珈琲店は、大田原市で初めての事業となる就労継続支援A型事業所となります。この事業は、利用者様が法人と雇用契約を結び、給料をもらって利用する事業です。「雇用につなげる支援」から「雇用を生み出す支援」となります。

「hikari no café」の由来は、故楡井が「新しい施設の名に、創世記1章3節の御言葉より『ひかり』を使いたい。」と病院から電話をかけてきたことに始まりました。神様から示されたのです。

「神は言われた。『光あれ。』こうして光があった。」—創世記1章3節—

<マタイによる福音書 5章14節~16節>

「あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。また、ともし火をともして升の下に置く者はいない。燭台の上に置く。そうすれば、家の中のものすべてを照らすのである。そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。」

私達は一人ひとり、生まれながらの賜物を頂いています。それが個性であり、光です。たとえそれがどんなに小さな光であっても、闇を照らす強い力があります。障がいがあろうとなかろうと、私たちが一生懸命輝く(働く)姿を見て、地域の人たちの福祉に対する意識を変えていくことが出来ると信じます。このように、私たちスタッフが常に光を放つ存在でありたいと思います。

そして、そのためにはプロ意識を持つことが大切です。福祉という言葉に甘えると、事業としてうまくいきません。あくまでも、自分たちの力と、商品力で勝負しなければならないと考え、店づくりから、備品、料理、飲み物、サービス、店内で販売する商品、小物にいたるまで徹底的にこだわり、他のカフェ以上のレベルのものを目指します。

「体は、一つの部分ではなく、多くの部分から成っています。」

—コリントの信徒への手紙I 12章14節—

体は、目や鼻や手や足など多くの部分から成り立って一つの体であるように、食器洗いのプロ・掃除のプロ・接客のプロ・盛り付けのプロなど、

個々の光・個々の力を結集させ、hikari no café 蜂巢小珈琲店という立派な体を作り上げていきたいと思ひます。そして、そのプロ意識が、ビジョンである「地域の光となり、福祉の光となる」と信じます。

また、カフェのコンセプトを

「『穏やか』なひと時を楽しむカフェ」

—Gentle Time Gentle Spece Gentle Cuisine—

としました。キャンパスに描かれているかのような田園風景を眺めながら、のどかでゆったりと、時を楽しんでいただけたらと思ひます。

2013年6月の大田原市広報の中に統廃合の特集の記事を見つけました。蜂巢小学校出身で当時黒羽中学校1年生の松本ゆうかさんの文章の中に「もう蜂巢小学校に戻ってくる事が出来ません」とあり、思わず「戻ってきてほしい」と思ひました。校舎の改装は、できるだけ、なつかしさを残したつもりです。「同級会もしてほしい。ここに、このカフェが出来て良かったと喜んでほしい。」と思ひます。

卒業生や地域の方たちばかりでなく、ここに蜂巢小学校があったことを知らなかった人たちにも、hikari no café 蜂巢小珈琲店の知名度をあげていき、hikari no café ブランドを確立させていきたいと思ひています。

また、私たちがプロになるためにご指導して下さっている増田さんは、ホテルエピナール那須の総料理長をされ、星野リゾートのスタッフとしても働かれたかたです。3月より、職員にトレーニングして下さっています。

私は、「善い志に道は開かれる」と信じています。まさに増田さんとの出会いは偶然でなく必然だと思ひています。

そして、とても嬉しいことがありました。

hikari no café から一般就労された元利用者様より、72万円もの寄付を頂きました。なぜ、72万円なのだろうと思ひましたら、その方の1か月の給料が6万円で、ちょうど1年分稼いだ金額なのです。その寄付金でエスプレッソブレンダーとスモージーブレンダーを購入させていただきました。

蜂巢小学校は明治8年に開校し、蔵針舎と称しました。「蔵針」とは「自分の生き方を見つけるためにしっかりと勉強すること」です。

スタッフが、このカフェで自分の生き方を見つけるためにしっかりと働けるよう皆様のご支援・お祈りをよろしく願ひいたします。

## 今後の予定

### ・5月役員会

日時：5月6日（金）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：5月例会、6月予定の確認、ブリテンの発行等。

### ・5月例会（とちぎYMCA総主事を迎えて）

日時：5月27日（金）午後6時～

場所：西那須野教会

### ・（仮）石巻広域ワイズメンズクラブチャーターナイト

日時：5月28日（土）午後1時～（予定）

場所：石巻グランドホテル

### ・第19回東日本区大会

日時：6月4日（土）～5日（日）

場所：長野市

### ・6月役員会（予定）

日時：6月3日（金）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：6月例会、新年度計画、7月予定の確認、ブリテンの発行等。

### ・東京目黒クラブの予定

5月例会：5月11日（水）午後1時30分～

6月例会：6月8日（水）午後1時30分～

7月例会：7月13日（水）午後1時30分～

## YMCA報告

日頃よりYMCAの諸活動にご理解、ご協力を頂き感謝申し上げます。新年度（2016年度）が始まり、那須YMCAの各事業がスタートいたしました。今年の那須YMCAは地域を見つめ、県北地域・那須YMCAの発展を目指し、様々なことに取り組んでいきたいと思ひます。

2016年度の那須YMCAに関わるスタッフの紹介をいたします。

那須YMCA全般：荒井 浩元（あらい ひろもと・マリオリーダー）

※地域活動、ワイズ担当主事、西那須野幼稚園委託事業（体育・サタデークラブ）、児童野外活動、ユース活動など

英会話：小野寺 温代（おのでら あつよ）  
英会話教室補助・事務：村上 尚子（むらかみ なおこ）  
英会話講師：Shallon Maclure（シャーロン マクレアー）  
英会話講師：Elizabeth Doster（エリザベス ドスター）  
英会話講師：Joshua Rutherford（ジョシュワ ラサフォード）  
スマイリークラブ：藤生 強（ふじょう つよし）

### 【さくらんぼ幼稚園の幼保連携型認定こども園移行について】

日頃よりYMCA活動にご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。さて、YMCAさくらんぼ幼稚園では地域社会のニーズにお応えしながら幼児教育と保育を一層充実して参りたく「幼保連携型認定こども園への移行」の検討を重ねて参りました。この度、宇都宮市内の幼稚園における認定こども園移行実施事業者として1月に応募をさせていただき、3月下旬に2017年（平成29年）4月開園に向けて選定されましたので皆さまにご報告申し上げます。幼保連携型の認定こども園は、子どもにとっての最善の利益を求め、同時に子育てをされるすべての方々を応援する国が進める新しい幼児教育と保育の施設です。さくらんぼ幼稚園では0歳から2歳までの保育部分の施設建設を予定しております。取り急ぎ、新年度にあたりまして、2017年（平成29年）4月からの幼保連携型認定こども園への移行決定のご報告とさせていただきます。

公益財団法人とちぎYMCA  
理事長 鷹 箸 孝  
総主事 塩 澤 達 俊

### 【とちぎYMCA・那須YMCAの5月の予定】

- ・5/3（火）～5（木） 赤城プレキャンプ@ぐんまYMCA赤城キャンプ ※リーダー計14名が参加します。
- ・5/7（土） サタデークラブ@長峰公園
- ・5/12（木）～13（金） 那須YMCA幼児英語クラス体験
- ・5/14（土） サタデークラブ@長峰公園
- ・5/15（日） Yキッズ@益子の森
- ・5/21（土） サタデークラブ@西那須野幼稚園（クラフト体験）
- ・5/28（土） サタデークラブ@西那須野幼稚園（クラフト体験）
- ・5/28（土） 那須YMCAリーダー歓迎会@

那須YMCA  
・5/30（月） 日本YMCA同盟国際協力委員会@同盟 ※委員の荒井が出席。

## 東京目黒クラブ4月例会訪問報告

副会長 村田 榮

4月13日（水）午後1時30分からの東京目黒クラブの4月例会にメネット共に参加してきました。今月は、東京コスモスクラブの伊藤幾夫メン（東日本区LT委員長）のお話を聞きました。予定では昨年9月例会でお話を聞く予定でしたが、台風の影響で中止となり本日の例会となりました。「老人は夢を見、若者は幻を見る～新クラブ設立に向けて～」と題しての5月22日（日）に多摩地区に新しいクラブの設立をするに至った経過報告を伺いました。氏は元高等学校の教師、現在は東京YMCA高等学院（通信制教育）の講師をされているとのことでした。YMCA運動を多摩で展開する拠点を得たいとの願いから新クラブの設立の幻を抱いた。新メンバー獲得に至る経緯は、いろいろな人の紹介から人の繋がりやの深さを感じたとのことでした。那須クラブも新メンバー獲得にはいろいろな努力が必要と感じた。今月の例会には、昨年の6月までメンバーであった中田清子（沼津クラブ）さんと、10年前までメンバーであった加藤祐一さんとの旧交を温めるときにもなった。今月もシイタケ昆布の販売に協力をしていただいた。

## ユースリーダーのつぶやきコーナー

【もっちゃんリーダー 橋本裕翼 国際医療福祉大学薬学部3年生】

こんにちは！もっちゃんリーダーです！私は、大学1年生の5月から、那須YMCAのリーダーとして活動を始めました。初めのうちは、子ども達のががままに翻弄されて、頼りないリーダーだと子ども達の目に映ってしまう場面や、子ども達とどのように接したらよいか分からず、悩む場面もありました。でも、「このまま終わらせちゃダメだ！」と思い、先輩リーダー達のアドバイスを参考にしたり、どうすれば伝えたいことが子ども達に伝わるかを考えたりしたりして、「まずは、自分なりにやってみよう！」という想いで活動を1年半続けてきました。これまでに、活動でたくさんの失敗をしてしまったけど、それ以上に活動が



うまくいった時の達成感や子ども達に「また会おうね！もっちゃん！」と言われたことがうれしくて、今も活動を続けています。大学の生活や勉強。そして、ボランティアであるYMCAの活動。この2つのバランスはとても難しいです。でも、YMCAの活動に参加してくれる子ども達は、私たちリーダーのことを待っています。その待っていてくれる子ども達の期待に応えられるよう、周りには個性豊かで魅力あるリーダー達と協力しながら、これからもこのYMCAの活動を楽しんでいきたいと思ひます！



## 編集後記

4月14日の余震に続いて4月16日の本震、震度7の揺れが熊本地方を襲いました。その後のニュース等で熊本だけでなく大分地域も被害が甚大です。阪神淡路大震災と東日本大震災に続いての大震災です。熊本YMCAが指定管理しております益城町の益城総合運動公園・体育館、御船町の御船スポーツセンターは多くの人々の避難所となっております。熊本YMCAでは事業の開始を始めておりますが、自宅の全壊・半壊等で職員の中にも避難所生活をしながら必死での活動が続いています。私達ができることは微々たるものですが活動に協力したいと持っております。とちぎYMCAを通じての募金活動にご協力ください。

以下の文章は、同盟よりの5月10日付のメールの一部です。

YMCA同盟：有田です。いつもお世話になっております。熊本地震における東西ワイズメンズクラブにおけるご支援に心から感謝申し上げます。◆既にご存じの情報かと思ひますが地震発生から丁度1ヶ月の今週末（5月14日・15日）に、ぐんまYMCA村上総主事からの呼びかけで全国YMCAの多くで一斉募金が行われます。これを、日本から、『災害の影響を受けている子

どもたちとユースのためのYMCA アジア、世界一斉募金（街頭募金・募金アクション）の呼びかけ』としてアジア、世界にも発信をいたしました。よろしければ、多くのワイズメンズクラブの方にも、募金活動に参加いただきましたら幸いです。アジア・世界で災害下にある子どもたちを覚えて一斉アクションできる機会として、熊本に連帯して行けたらと願ひます。

◆本日から、熊本YMCAが通常事業を再開いたします。自ら被災しながら、支援活動を行い、そして事業再開のために準備を進めてこられた熊本YMCAの皆様のご尽力を想像します。多くの人たちがYMCAで、笑顔で再会できることを祈ります。

なお、職員の皆様の被災状況について伺ひました。本人住家屋被災状況 フルタイム、パートタイムスタッフ 177名のうち全壊6名(3.4%)、半壊11名(5.7%)、一部損傷71名(40.3%・軽微含む)全体で49.4%の方が被災されており、改めて被害の深刻さを思ひます。怪我は足の骨1名。夜はお子さんと車中での生活を続けられている方もおられます。

中央本館及び体育館は一部教室を変更しながらもすべてプログラム、専門学校授業等も実施。今日は、館内放送で、震災を経て再会できることへの感謝、これからの困難も共に乗り越えること、YMCAは被災者に寄り添う活動を続けることなどメッセージされる予定です。

益城総合運動公園・体育館、御船スポーツセンターの1500名の避難所運営は続き、施設改修が急ピッチで進められ環境改善が計画されています。熱中症、食中毒、学校再開に伴う対応にも追われています。

阿蘇YMCAボランティアセンターは、今日から横浜YMCAから小林一郎スタッフが1ヶ月派遣され、今後のボランティアセンターの運営について協議されます。被害のひどかった地域での後片付け、瓦おろしなど行ってきましたが、これからは週末型のボランティアセンターとして機能していくとのこと。

震災からまもなく1か月、支援される皆様の疲れもピークと思ひます。引き続き、祈り、変わらぬご支援をお願いいたします。